科目ナンバリング	U-LAS20 10001 SB48						
授業科目名 <英訳>	英語リーディング ER30 1S5 English Reading			担当者所属 職名・氏名	非常勤講師 西本　希呼		
群	外国語科目群	分野(分類)		使用言語	日本語		
旧群	C群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	演習（外国語）（対面授業科目）
開講年度・開講期	2025・前期	曜時限	月1	配当学年	1回生	対象学生	全学向

[技能領域]

アカデミックリーディング

[授業の概要・目的]

本授業の目標は、高校までの詰め込み英語学習から一旦離れ、英語で書かれた学術記事を通じて、科学の楽しさを体感し、学術英語技能と科学のセンスを研ぎ澄ますことです。授業では講師と学生との双方向コミュニケーションを重視しています。指定教科書の他に、毎回小さな議題を設定するので、自分なりの意見や主張を考え、それを他者にうまく伝える工夫をしましょう。相手の意見にも耳を傾けましょう。そうすることで、色んな興味関心や背景を持つ学生と議論することで知の相乗効果を図ります。

＊英語力の実用面では毎回簡単で短いテキストのディクテーションとシャドーイング を10分ほど行い普段使わない脳と口の筋肉を動かします。

[到達目標]

この授業では、(1)英語で書かれた学術記事の講読を通じて、学術英語に慣れ、それを使いこなす技術を習得すること、(2)日常生活の小さな疑問や出来事を、異なる価値観や様々な学術領域から考察する能力を培うこと、（3）日本語と英語の両方で自分の伝えたいことを他者にわかりやすく伝える能力（プレゼンテーション能力）を養うことの３点を主な目標とします。授業を通じて、学術の器と人間の器の両面を広くするために切磋琢磨していきます。

＊英語の実用面では、毎回シャドーイングとディクテーションを行う。

[授業計画と内容]

授業では教科書として、The coming of age of quantum biology: Life on the Edge（「量子力学で生命の謎を解く』を読んで皆で議論していきます。

黙々と読んで訳す授業ではなく４技能を駆使したアクティブな授業です。短い英文テキストのシャドーイング とディクテーションで普段使っていない脳を動かしたり、関連する英語の映像資料などを適宜視聴します。

(1) Introduction授業オリエンテーション、大学で学ぶ英語とは、この授業で使う教科書について、自己紹介、書籍の紹介
(2) Introduction　量子生物学という領域、学術書籍の序論やはしがき、著者の研究への熱意や科学者のあり方
(3) Chapter 2 What is life?　生命とは何か
(4) Chapter 3 The engines of life　生命のエンジン
(5) Chapter 4 The quantum beat量子のうなり
(6) Chapter 5 Finding Nemo’s home ニモの家を探せ

英語リーディング ER30(2)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER30(2)

(7) Chapter 6 The butterfly, the fruit fly and the quantum robinチョウ、ショウジョウバエ、量子のコマドリ
(8) Chapter 7 Quantum genes　量子の遺伝子
(9) Chapter 8 Mind心
(10) Chapter９ How life began 生命の起源
(11) Chapter 10 Quantum biology: life on the edge of a storm　量子生物学ー嵐の縁の生命、受講生の英語での口頭発表と質疑応答
(12) Epilogue: quantum life　量子革命、受講生の英語での口頭発表と質疑応答
(13)受講生の英語での口頭発表と質疑応答
(14)受講生の英語での口頭発表と質疑応答
(15)フィードバック

[履修要件]

「全学共通科目履修の手引き」を参照してください。

[成績評価の方法・観点]

5回以上欠席した場合は成績評価の対象としない。
平常点60%、期末レポート試験40%
授業中の自由で積極的な発言と、自ら主体的に調べて学ぶ姿勢を評価します。学術英語技術を習得する授業なので、必要に応じて、より適切な英語の発音やアクセント、イントネーション、表現に授業内では誘導していきますが、成績評価では、英語の発音の正確さや流暢な英語力だけではなく、むしろ予習、復習そして積極性や主体性を重視します。
インターネットでの情報検索は上手に使い、検索して得る情報と、自分の中に吸収して自身の血や肉となる知識や技術とは分けて考えましょう。

[教科書]

Johnjoe Mcfadden and Jim Al-Khali 『The coming of age of quantum biology』（2016）ISBN: 9780307986825（キンドル版、ペーパーブック、オーディオ等あります）
配布資料等は授業内で共有いたします。

[参考書等]

（参考書）
その他関連図書・分野
ファインマンの物理学、カオス理論、生命の起源、量子進化、科学技術史、科学社会学、量子生物学、シュレーディンガーの猫など、自分の関心のある領域の文庫本などを斜め読みしておくと、より楽しく本を理解できます。

（関連ＵＲＬ）

http://bizboard.nikkeibp.co.jp/academic/latest_list/mag_SCI.html(日経サイエンス（京都大学IDで閲覧できます）)
https://www.newtonpress.co.jp/newton.html(科学雑誌ニュートンシリーズ)

[授業外学修（予習・復習）等]

授業の予習として、わからない英単語や用語は事前に調べておいてください。授業では双方向コミュニケーションを重視していますので、積極的に発言しましょう。
●予習や復習は原則ですが、予習ができなかった週でも、技能の授業は出席して得るものがあります。前週前夜体調不良等で予習ができなかった日は、授業時間に集中して積極参加し、知的な刺激を得て帰るようにしましょう。
●技術習得科目なので出席し週一回でもその場で音読したりシャドーイング やディクテーションを

英語リーディング ER30(3)へ続く↓↓↓

英語リーディング ER30(3)

するだけでも意義と効果は確実にあります。
●「英語が苦手」「英語の発音は得意ではない」「英語はあまり喋れない」「リスニングは苦手」と思っていても、問題ありません。学術英語は訓練すれば誰でも身につけることのできる技術です。

[その他（オフィスアワー等）]

[主要授業科目（学部・学科名）]